Vixen®

AX103S鏡筒ユニット取扱説明書

はじめに

このたびは、ビクセン天体望遠鏡「屈折式鏡筒」シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

※この説明書は「屈折式鏡筒AX103S」の説明書です。ご使用状況よっては、関係しない説明も掲載されていますので、ご了承ください。
※赤道儀とセットでお買い求めの場合、必ず「赤道儀の取扱説明書」をあわせてご覧ください。

⚠警 告

太陽を見てはいけません。失明の危険があります。

天体望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対に見てはいけません。失明の危険があります。

⊘注意

⊘レンズキャップを外したままで、昼間に製品を放置しないでください。望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
⊘移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
⊘キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲みこむことのないようにしてください。
⊘水などがかかる場所では使用しないでください。

お手入れ・保管について

・炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
・本体を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤を使用しないでください。
・製品に、雨、水滴、泥、砂などがかからないようにしてください。
・レンズ表面は手で触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合は、市販のレンズクリーナーとレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください。
・レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のブロアーブラシなどで吹き飛ばしてください。
・保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

組み立て方

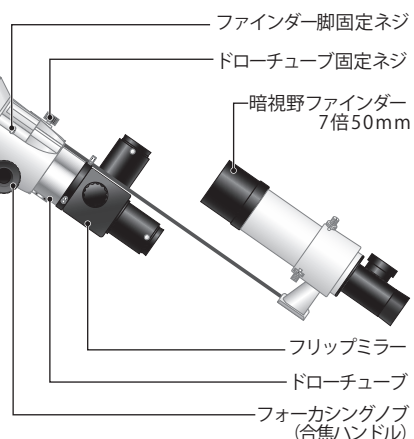
『赤道儀の取扱説明書』もあわせてご覧ください。

●鏡筒の取り付け方

鏡筒固定ネジ、脱落防止ネジをあらかじめ緩めておきます。次に、鏡筒にあるプレートを図のように当てて、ネジを締めて固定します。
先に鏡筒固定ネジを締め、次に脱落防止ネジを締めてください。

●ファインダーの取り付け方

あらかじめファインダー脚固定ネジを緩めておき、図のようにセットしてください。
セットしたらファインダー脚固定ネジをしっかり締めて固定してください。

【参考例】
SXD赤道儀にて使用の場合

ご使用前に

※詳しい使い方については『赤道儀の取扱説明書』をご覧ください。
鏡筒のバランスのとり方や、ファインダー調整等の基本的な使い方が掲載されています。

接眼部の構成

※接眼レンズ(別売)を取り付けないと像が見えません。また、天体望遠鏡の倍率は接眼レンズよって決まります。(下記参照)

【接眼チャート】

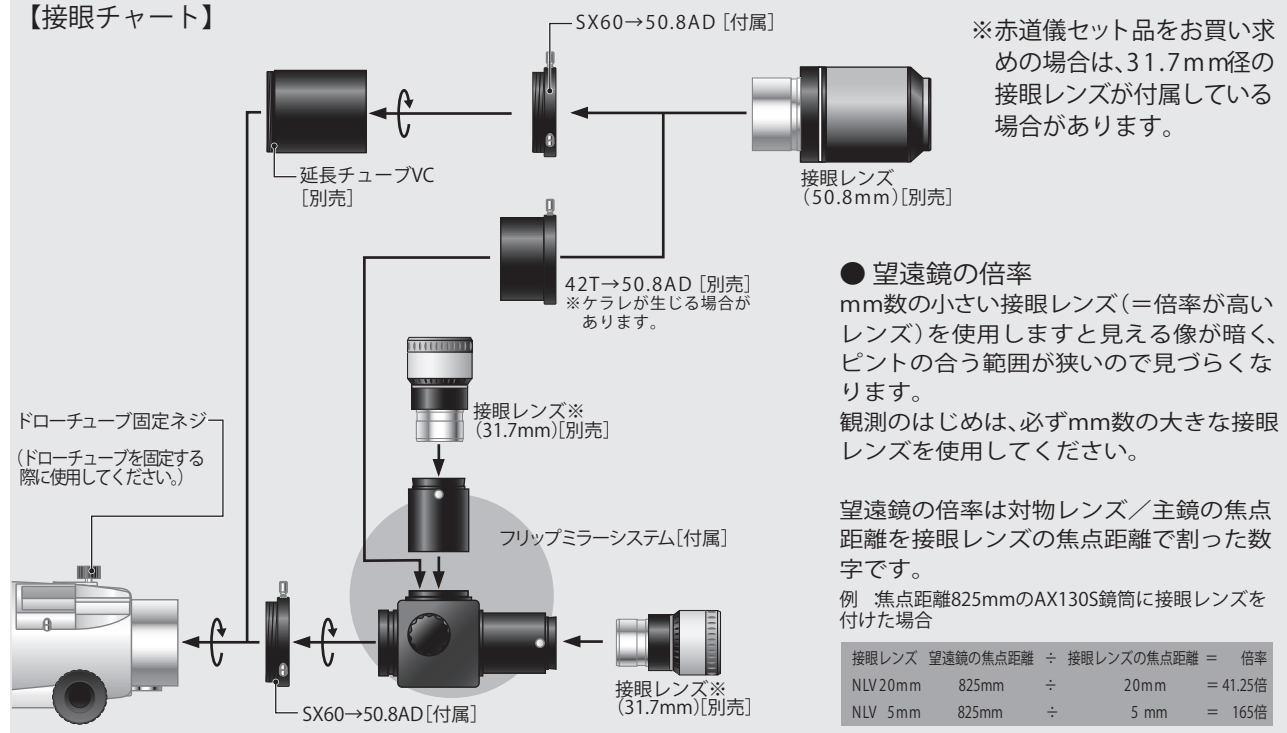
※赤道儀セット品をお買い求めの場合は、31.7mm径の接眼レンズが付属している場合があります。

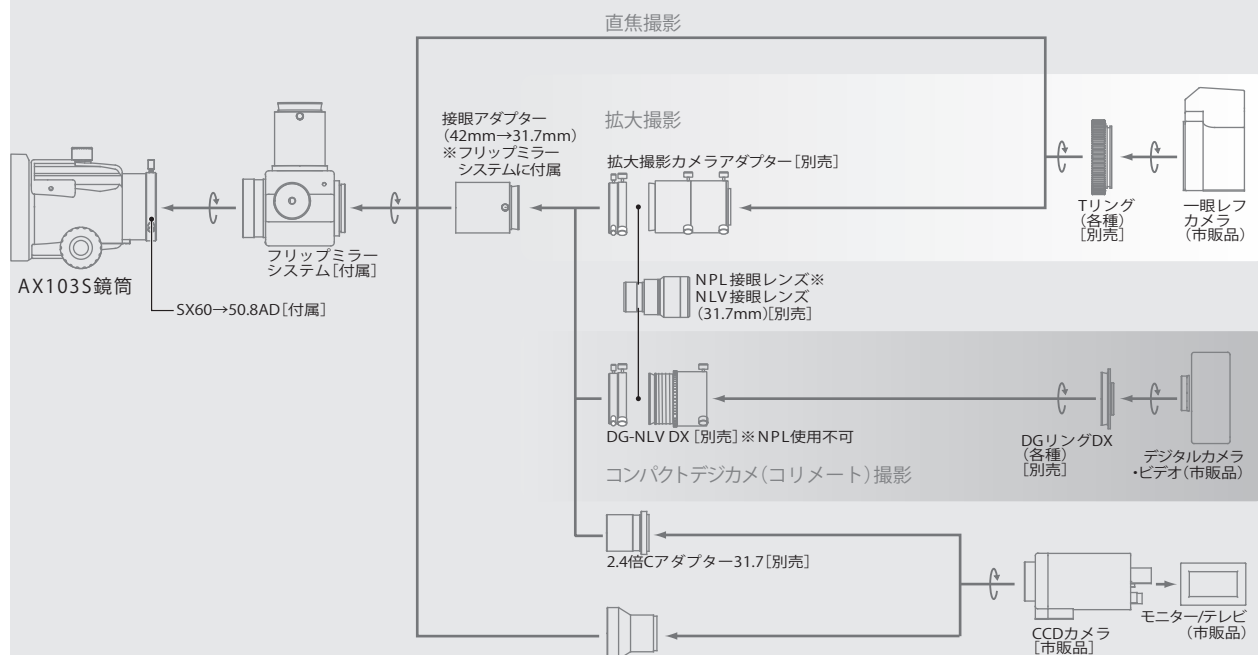
● 望遠鏡の倍率

mm数の小さい接眼レンズ（＝倍率が高いレンズ）を使用しますと見える像が暗く、ピントの合う範囲が狭いので見づらくなります。
観測のはじめは、必ずmm数の大きな接眼レンズを使用してください。

望遠鏡の倍率は対物レンズ／主鏡の焦点距離を接眼レンズの焦点距離で割った数字です。

例　:焦点距離825mmのAX130S鏡筒に接眼レンズを付けた場合

接眼レンズ	望遠鏡の焦点距離	÷	接眼レンズの焦点距離	=	倍率
NLV20mm	825mm	÷	20mm	=	41.25倍
NLV 5mm	825mm	÷	5 mm	=	165倍

【写真撮影システムチャート】

デジタルカメラ、一眼レフカメラ、CCDカメラで撮影する際にはこの図のような別売パーツが必要になります。

鏡筒の仕様

◎：付属しています。
仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

	機種名	AX103S 鏡筒
対物レンズ	対物レンズ形式	EDレンズ／アポクロマート／マルチコート
	有効径（D）	103mm
	焦点距離（f）	825mm
	口径比	1：8
	集光力	肉眼217倍
	分解能	1.13秒
	極限等級	11.8等星
接眼部	ドローチューブ径／64mm	
	ネジ込み／60mm・42mmTリング用ネジ	
	差し込み／50.8mm・31.7mm・フリップミラー内蔵	
サイズ／重さ	鏡筒長	670～762mm
	外　径	115mm
	重　さ	6.4kg(本体4.6kg)
付属品	暗視野ファインダー7倍50mm(実視界7.0°)	◎
	フリップミラー	◎
	鏡筒バンド	◎
	アタッチメントプレート	◎
	キャリングハンドル	◎

株式会社 ビクセン
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
［代　　表］TEL：04-2944-4000　FAX：04-2944-4045
［ホームページ］http://www.vixen.co.jp

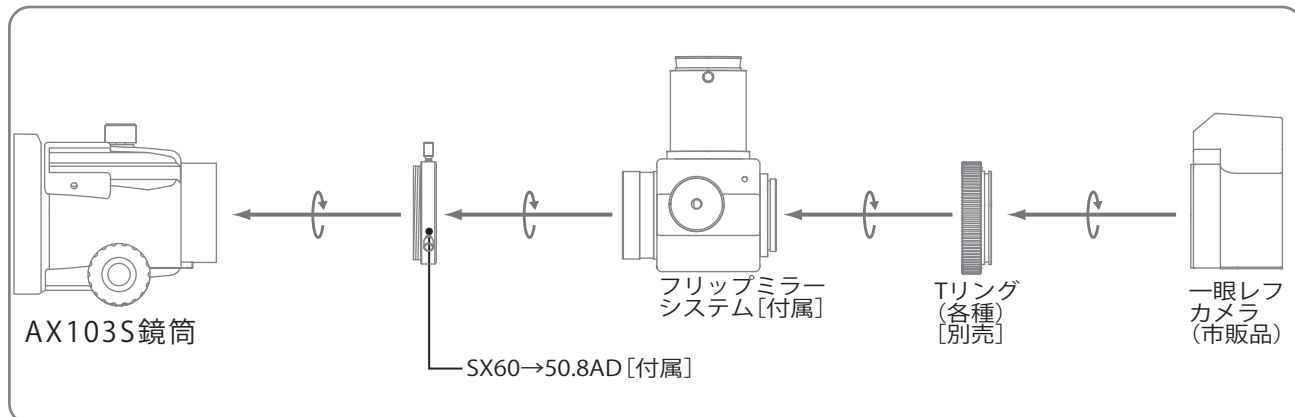
56キ-2-0.02S-52-(CLC1130)(M)

Vixen®

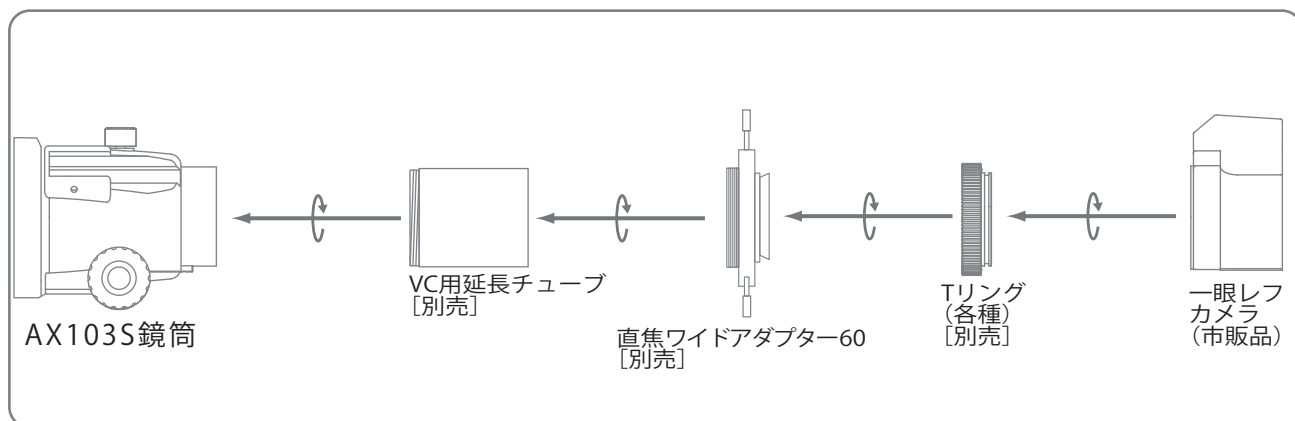
AX103S鏡筒補足説明書 直焦撮影における一眼レフカメラボディの接続方法

AX103S鏡筒で一眼レフカメラボディによる直焦撮影をされる場合、次の何れかの方法でカメラを接続してください。
他の方法で接続されますと内部にあるフラットナーレンズ後端面からカメラの受光面（※1）までの距離が変わり、良好な像が得られなくなります。

①フリップミラー併用による接続

すぐに接続して撮影される場合に推奨。Tリング、及び一眼レフカメラボディのご使用方法につきましては、各々に付属の説明書をお読みください。

この組み合わせにて、一眼レフカメラの受光面サイズがAPS-Cサイズ（※2）のカメラ及びこれより小さい受光面を持つカメラまでがケラレ（※3）を生じません（※5）。但しカメラボディを取付けた際、カメラ回転角度によってはケラレを生じることがあります。この場合、Tリングで角度を調整してください。市販の精密ドライバー等でTリング側面のネジを緩め、Tリングの内リング角度を調節してケラレが出ないように調整します。調整後は緩まないようにネジをしっかり締めてください。

②直焦ワイドアダプター60併用による接続

一眼レフカメラの撮像面サイズ（デジタルカメラの場合は撮像素子サイズ、フィルムカメラの場合はフィルム受光面サイズ）がフルサイズ（24×36mm）であるカメラでの撮影に推奨。

この組み合わせにて、一眼レフカメラの受光面サイズがフルサイズ（※4）のカメラ及びこれより小さい受光面を持つカメラまでケラレ（※3）を生じません（※5）。直焦ワイドアダプター60、Tリング、及び一眼レフカメラボディのご使用方法につきましては、各々に付属の説明書をお読みください。

（※1） 受光面：カメラがレンズからの光を直接受ける部分。デジタルカメラの場合は撮像素子の面、フィルムカメラの場合はフィルム面に相当します。
（※2） APS-Cサイズ：受光面サイズで、おおよそ23.6×15.8mmに相当します。カメラ機種により若干の違いがあります。詳しくはご使用のカメラメーカーにお問い合わせください。
（※3） ケラレ：視野（画角）の中心付近だけが写る現象です。周辺が黒く縁取られ、写らなくなります。
（※4） フルサイズ：受光面サイズで24×36mmに相当します。35mm判フィルムカメラのフィルム受光面サイズと同じ大きさです。
（※5） 周辺減光により画像四隅が薄暗くなることがあります（ケラレのように見えることがあります）。デジタルカメラではフィルムカメラより目立つ傾向があり、特にフルサイズの受光面を持つデジタルカメラにて強く出ることがあります。

〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
［代　　表］TEL：04-2944-4000　FAX：04-2944-4045
［ホームページ］http://www.vixen.co.jp